

国家公務員共済組合連合会 九段坂病院

住所：〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-12

TEL：03-3262-9191

HP：<http://www.kudanzaka.com/>



リハビリテーション科医師(2020年6月現在)

責任者：専門医・指導医 小林健太郎(慈恵 H14 卒)

総病床数：231, リハ科病床：41, 診療科・センター数：16

理学療法士 28 名, 作業療法士 10 名, 言語聴覚士 3 名



責任者からのコメント

当院では回復期リハビリテーション病棟で脳卒中、脊髄損傷、頭部外傷、ギランバレー症候群などの神経筋疾患、大腿骨頸部骨折などを経験することができます。じっくり患者さんと向き合いながら、リハビリテーション評価や予後予測などを学んでいただけます。嚥下内視鏡と嚥下造影検査の件数が多いので、研修期間中に習得することができます。他大学出身の医師が多いですが、リハビリテーションスタッフ含めてアットホームな雰囲気です。ただし病院業務は多忙を極めます。

研修病院としての特徴

1. 千代田区で唯一の回復期リハビリテーション病棟

区内唯一の回復期リハビリテーション病棟として近隣から主に脳卒中患者を受け入れています。徒手的なリハビリテーションに加えて、振動療法や電気刺激療法、経頭蓋磁気刺激療法などの物理療法を積極的に導入しています。日常生活動作へのアプローチとして9steps project を立ち上げて、段階的に介入できるような工夫をしています。

2. 専門外来や相談事業による地域医療への関わり

開業医と連携を取りながら、嚥下内視鏡や嚥下造影検査での嚥下機能評価や訓練指導を行う「嚥下外来」、主に脳卒中患者の装具に関する診療を行う「装具外来」、訓練指導や内服調整、ボツリヌス療法など痙縮を改善させる「痙縮外来」などの専門分野に特化した医療を地域に提供しています。また千代田区の高齢者サポートセンターにおいて介護予防についての講演やロコモティブシンドロームや運動器に関する相談窓口を開いています。

3. 嚥下サポートチーム (Swallow Support Team: SST)

嚥下障害診療に、医師と摂食・嚥下障害看護の認定看護師、言語聴覚士、栄養士、地域連携看護師からなる専門チームで診療しています。依頼があるとチームで回診を行い、必要に応じて嚥下内視鏡や嚥下造影検査を施行して、リハビリテーション処方や摂食機能療法実施計画を立案します。義歯調整などが必要な場合は訪問歯科診療を受診できる体制が整っています。週1回の定期回診で経過をフォローしています。

最後に

学んだ予後予測を超える新しいリハビリテーション治療を検討していきましょう！

I can accept failure, everyone fails at something.

But I can't accept not trying.

東京慈恵会医科大学
リハビリテーション医学講座